正　誤　表

『日本臨床栄養代謝学会 JSPEN テキストブック』（第 1 版 第 2 刷）
下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
9	下から3行目	臥症	臥床
31	図 1 コレシストキニンの作用	膵酵素・塩酸分泌，胆嚢収縮	膵酵素・塩酸分泌抑制，胆嚢収縮
35	最終行	たんばく質	たんぱく質
37	16行目	モノグリセイリド	モノグリセリド
64	図 1	主な脂肪酸の化学式 飽和脂肪酸　　：$C_nH_{2n+1}COOH$ 1 価不飽和脂肪酸：$C_nH_{2n-1}COOH$ 多価不飽和脂肪酸：$C_nH_{2n-3}COOH$ $C_nH_{2n-5}COOH$	主な脂肪酸の化学式 飽和脂肪酸　　：$C_nH_{2n}O_2$ 1 価不飽和脂肪酸：$C_nH_{2n-2}O_2$ 多価不飽和脂肪酸：$C_nH_{2n-(2\text{重結合の数}\times 2)}O_2$
67	下から11行目	骨核	骨格
93	3行目	低減する図る	低減を図る
107	図7	組織間液(600mL×3/4)+(360mL×3/12)=600mL	組織間液(600mL×3/4)+(600mL×3/12)=600mL
110	15行目	状況に応じ最大で40mEq/Lの速度で，40mEq/時の補正速度は許容されうる.	状況に応じ最大で40mEq/Lの速度で，20mEq/時の補正速度は許容されうる.
145	図7	kg	cm
146	図9	kg	cm
166	2行目	尿中窒素量値	尿中尿素窒素排泄量値

169	表1	Weirの式 $\dot{V}CO$(2L/日) 簡易式 3.94×$\dot{V}O$(2mL/分) +1.11×$\dot{V}CO2$(mL/分)×1.44	Weirの式 $\dot{V}CO_2$(L/日) 簡易式 [3.94×$\dot{V}O2$(mL/分) +1.11×$\dot{V}CO2$(mL/分)]×1.44
195	12行目	糖尿患者	糖尿病患者
231	3～5行目	現在，算定が可能な製品は粘度の高い製品に限られ，医薬品のラコールNF経腸栄養用半固形剤と食品のカームソリッド，メイグッドの3製品に限定されている．	算定の対象となるのは，投与時間の短縮が可能な形状にあらかじめ調整された半固形栄養剤等（医薬品または食品）であり，食品扱いの製品を使用する場合は，入院中の患者に対して退院時に当該指導管理を行っている必要がある．
235	下から8行目	ヘパンED（医薬品，消化態栄養剤	ヘパンED（医薬品，成分栄養剤
303	表6の2，8行目	カテール	カテーテル
408	6行目	病変病変	病変
411	6行目	長疾患	腸疾患
420	17行目	経静脈栄養群	経静脈栄養
427	3行目	必須アミノ酸やアルギニンを多く含む	必須アミノ酸を多く含む
433	図2	開腹意欲の励起	回復意欲の励起
545	8行目	群（37.9±6.5kcal/kg/日）群	群（37.9±6.5kcal/kg/日）
575	表7	試験回復	試験開腹
579	27行目	胃内で胃酸によりペプシンが活性化しペプシノーゲンとなり	胃内で胃酸によりペプシノーゲンが活性化しペプシンとなり
579	28行目	胃酸・ペプシンの分泌は少ないため	胃酸・ペプシノーゲンの分泌は少ないため
587	2行目	小児おける	小児における
609	6行目	軽傷	軽症

2024 年 9 月 25 日

株式会社南江堂